

■入湯税の概要

- 課税客体：鉱泉浴場における入湯行為
- 納税義務者：鉱泉浴場における入湯客
- 税率：1人1日150円（標準的な税率）
- 特別徴収義務者数：33施設（H30現在）

■総宿泊客数と入湯税額の推移（市内宿泊施設数：70施設）

年度	総宿泊客数	入湯客数	入湯税額
H2	603,000人	1,862人	148,960円
H12	502,000人	178,429人	26,764,350円
H22	539,300人	249,143人	37,371,450円
H26	568,700人	256,891人	38,533,650円
H27	593,600人	265,122人	39,768,300円
H28	573,000人	242,198人	36,329,700円
H29	564,700人	246,368人	36,955,200円
H30	533,900人	246,491人	36,973,650円

■入湯税の使途

●平成28年度（入湯税総額：36,330千円）

単位：千円

事業名	事業内容等	事業費総額	一般財源	
				うち入湯税
環境衛生施設整備事業	衛生施設の整備等（清掃工場管理運営、粗大ごみ処理施設管理運営、リサイクルセンター管理運営、不燃物処理場管理運営）	135,882	111,085	7,555
消防施設等整備事業	防災拠点施設の整備、消防車両の更新及び消火栓の整備	115,170	12,970	882
観光施設整備事業	観光施設の修繕（世屋高原家族旅行村、由良脇公園等）	4,197	828	56
観光振興基金積立金	観光振興基金への積立金（前年度入湯税決算額の7割相当額を積立て、同一年度中に同額を観光振興事業に充当するために繰入れ）	27,839	27,838	27,837
合 計		283,088	152,721	36,330

●平成 29 年度（入湯税総額：36,955 千円）

単位：千円

事業名	事業内容等	事業費 総額	一般財源	
			うち入湯税	
環境衛生施設整備事業	衛生施設の整備等（清掃工場管理運営、粗大ごみ処理施設管理運営、リサイクルセンター管理運営、不燃物処理場管理運営）	107,008	48,770	9,435
消防施設等整備事業	防災拠点施設の整備、消防車両の更新及び消火栓の整備	191,296	10,296	1,991
観光施設整備事業	観光施設の修繕（天橋立海水浴場放送設備電気配線）	505	505	98
観光振興基金積立金	観光振興基金への積立金（前年度入湯税決算額の 7 割相当額を積立て、同一年度中に同額を観光振興事業に充当するために繰入れ）	25,432	25,431	25,431
合 計		324,241	85,002	36,955

●平成 30 年度（入湯税総額：37,074 千円）

単位：千円

事業名	事業内容等	事業費 総額	一般財源	
			うち入湯税	
環境衛生施設整備事業	衛生施設の整備等（清掃工場管理運営、粗大ごみ処理施設管理運営、リサイクルセンター管理運営、不燃物処理場管理運営）	121,269	50,298	10,106
消防施設等整備事業	消防車両の更新、消火栓・防火水槽等の修繕、全国瞬時警報システム（Jアラート）新型受信機の整備	26,325	1,525	307
観光施設整備事業	漁師町観光商業センター整備	119,241	3,941	792
観光振興基金積立金	観光振興基金への積立金（前年度入湯税決算額の 7 割相当額を積立て、同一年度中に同額を観光振興事業に充当するために繰入れ）	25,870	25,869	25,869
合 計		292,705	81,633	37,074

■入湯税超過課税実施状況 6団体 (平成 29 年度課税団体数：981 団体)

課税団体	1人1日の入湯税額			施行期日	改正理由等
	宿泊利用者	日帰り利用者	長期滞在者		
岡山県美作市	200 円	1,000 円未満の 利用料金の場合 0 円	—		H17.3 合併 合併前構成団体で 200 円を徴収している団体があったため
三重県桑名市	宿泊先により 60 円～210 円		—		H16.12 合併 合併前構成団体の税率に統一
大阪府箕面市	200 円	75 円	—	H28.6.1	
北海道釧路市	区分により 40 円～250 円		—	H27.4.1	阿寒湖温泉など地域から税率引上げ要望
北海道上川町	250 円 150 円	150 円	75 円	H30.4.1	国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテルのみ超過課税
大分県別府市	宿泊料金又は飲食料金により 25 円～500 円			H31.4.1	観光事業の財源確保のため
京都府宮津市	150 円	150 円	—		